



12月号 平成30年11月30日発行
荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町6-9-4番地 [Tel.911-0149]

アドレス [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



「大切なあなた、大切なわたし」

校長 澤田 有子

1948年12月10日、国際連合は「世界人権宣言」を採択しました。我が国においては、この宣言が採択されたことを記念し、毎年12月10日を最終日とする一週間(12月4日～12月10日)を『人権週間』として定め、人権尊重思想の普及高揚を図るため、集中的に啓発活動を行っています。

本校では、自分自身をかけがえのない存在と感じられるよう、また、他者の思いに寄り添う心情を育てられるよう授業や行事等の中での学びを進めています。年3回設定している「かがやけ えたっこ週間」では、各学年の実態に即した学年ごとの取組を工夫して行っています。例えば、友達にしてもらったことや言ってもらってうれしかったことなどをにこにこカードに書き、交換し合ったり、友達のよいところを見つけてカルタにしたり、他者をより深く理解するための取組を行ったりしています。その他にも、子どもたちの学校生活の現状を把握するために、月に1回学校生活アンケートを実施しています。

また、子どもたちの自己尊重感をさらに高めていくためには、周りの大人たちが子どもを見守りながら、ポイントを押さえてほめて育てていくことも大切なのではないかと考えています。

●ほめるポイントについて

- *ふだんやっていること、あたりまえと思っていることをほめる *からだの動きをほめる
- *「ありがとう」といえること、感謝できることをほめる *「ごめんなさい」といえること、まちがいを認められることをほめる
- *結果だけではなくプロセスをほめる *できることだけでなく、今できなくてもこうしたいと思っているプラスの思いをほめる
- *愛すること、好きだと感じることを、肯定的な感じ方をほめる *完璧さを目指さず、不完全をほめる
- *「イイ子」「上手ね」「がんばったね」以外でほめる *マイナスのなかのプラスをほめる
- *弱さや欠点を受けいられることをほめる *生きているだけでありがとう。今ここに生きていることを、まずほめる

(北村年子氏の自己尊重トレーニング講座資料より)

さて、学校では、人とどのようにかかわっていけばよいのか、どのように人とつながり、助け合っていけばよいのかについても学んでいます。子どもたちが今後より大きな世界(社会)に出ていくためには必須のスキルです。その社会的スキルを身につけていく過程において、子どもを見守る大人はこんな意識を持つことも大切であるのかもしれない。「乳児はしっかり 肌を離すな 幼児は肌を離せ、手を離すな 少年は手を離せ、目を離すな 青年は目を離せ、心を離すな」(『子育て四訓』より)



『このお米なんだ? クイズ』

- ヒント1. もち米は、少し丸い
- ヒント2. こがねもちは、少し黄色い
- ヒント3. 荏田米には、小さな粒と大きな粒が混じっている



『わらすき作業』

12月8日(土)「しめ縄づくり」に向けて、PTA 学年学級委員の皆様が、わらすき作業をされました。ありがとうございます。